

Googleにおける マンガ海賊版サイト対策について

2022年3月16日

マーカム・エリクソン / Google 公共政策・政府渉外担当バイス・プレジデント

Markham Erickson / Vice President, Government Affairs & Public Policy, Google





デジタル化による コンテンツ市場の拡大

デジタル・プラットフォームは、何百万人もの消費者がインターネット上で正規版コンテンツを見つけるのを助け、毎年約27兆ドルのオンライン商取引を促進しています。

出典: <u>UNCTAD</u>

日本では、紙と電子を合わせた 2021年コミック市場規模(推定販売金額)は前年比 10.3%増の6,759億円(過去最高額)。なかでも電子コミック市場は前年比 20.3%増の4,114億円と2020年に続き大きく成長しました。



出典:全国出版協会•出版科学研究所

Google の 著作権侵害対策 に関する原則



▲ より良い代替案を生み出す

お金の流れを追う

- 効率的かつ効果的で より大きな規模での取組
- 不正使用を防止する

透明性を確保する



著作権者が検索結果からの削除を求める方法について

- 簡単かつ効率的なウェブフォームによる通知が可能。
- 大量のリクエストを一括申請可能なツール "Trusted Copyright Removal Program (TCRP)"を提供。
- TCRP は、大量の著作権侵害削除通知を報告している権利者が、削除件数がきわめて多い Google の製品に関する削除通知を効率的に行うことができるように設計されています。



著作権を侵害している ウェブサイトの降格

- Googleは、著作権者から通知を受けたページを検索結果から削除します。
- また、Googleは、検索結果のランキングを決定する際に考慮する数百のシグナルの 1つとして、特定のサイトに対して受け取った有効な著作権削除通知の数を考慮しています。
- その結果、Googleが有効な削除通知を大量に受け取ったサイト(ドメイン)は、検索結果でかなり低い位置に表示されます(「降格シグナル」)。
- この「降格シグナル」は、削除通知を受けた URL にとどまらず、当該ドメイン全体に影響を及ぼすことができるため、削除通知の威力を増幅します。
- また、Googleの取り組みによって、侵害サイトを新しいドメインにリダイレクトすることによって降格シ グナルの効力を回避することがより困難になりました。
- これまでも Google 検索は侵害サイトの主要なトラフィック源ではありませんでしたが、 Googleの調査によると、上記の仕組みにより降格されたサイトは Google 検索からのトラフィックの平均 89 %を失っているとのデータがあります。

第三者に対する裁判所命令への自主的な対応について

- Google では、ウェブマスターなどの第三者に対する裁判所の命令に基づく自主的な検索結果からの削除 を長年続けています。
- 裁判所が、特定のウェブサイト全体を閉鎖またはブロックするべきと決定したとの通知を受けた場合、 Google は通常、その要請に自主的に従い、当該サイトをその裁判所の所在する法域において検索結果 から削除し、裁判所による命令に実効性を持たせることに協力しています。

Googleのコミットメント 今、そしてこれから

- Googleは、著作権侵害という課題に対し真摯に取り組んで参ります。その一環として、今後も積極的に合法的なコンテンツとユーザーをつなぐことにより、出版社の成長および収益を後押しします。
- Google は、これまで長年にわたって、真剣にそして積極的に日本の著作権者とコミュニティの皆様 とともに活動してまいりました。
- 現在、検索結果からサイト全体の削除に向けて出版社の皆様とご相談させていただいており、解決に向けて今後も対話を続けていきます。
- 日々行っている海賊版サイト対策における新たなツール開発やプロセスの改善に今後も努めてまいります。

ご清聴ありがとうございました

